

## 第7回戦術委員会確認事項

2020年4月17日  
全日本金属産業労働組合協議会  
(金属労協/JCM)

金属労協は、本日9時より第7回戦術委員会を開催し、回答状況の把握を行うとともに、JC共闘の今後の進め方を確認した。

1. 本日段階において、例年と比べて回答引き出しが遅れている。

JC共闘全体として、中小労組が大手労組以上の賃上げを獲得し、賃金の底上げ・格差是正を図る傾向が継続している。

2. 産業・企業をとりまく環境が厳しさを増す中にあっても、労使の真摯な交渉によって、全体として賃上げをはじめとする「人への投資」の流れを継続することができている。新型肺炎ウイルスへの対応を進める中で、雇用確保を最優先としつつ、今後回答を引き出す中堅・中小労組が、賃上げの流れを継続するようJC共闘全体で支えていく。

また、非正規労働者の賃金・労働諸条件の改善、企業内最低賃金協定の締結拡大・水準引き上げ、働き方の見直しについても、前進に向けて協議を重ねていく。

金属労協は、引き続き共闘体制を維持し、各組合は、産別指導の下、賃金の底上げ・格差是正に向けて、精力的に交渉を展開し、速やかに決着を図ることとする。

3. 新型肺炎が世界的に大流行し、国内でも全国的な感染拡大が見られる。経済活動は大幅に縮小し、われわれの働く金属産業も大きな打撃を受け始めている。

金属労協は、産業・企業の基盤確保と働く者の雇用不安・生活不安の解消に向け、必要な政策の速やかな実行を求め、政党への要請活動を行った。引き続き産業・企業の状況、働く者の雇用と生活の状況を把握しながら、要請活動を強力に推進する。

4. 第8回戦術委員会は、5月18日に開催する。

以上